(一)　昭和30年10月4日　第1619号　(火曜日)　常磐毎日新聞　(昭和30年1月22日 第三種郵便物認可)　夕刊　(日曜、祭日、休刊)

# 常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電話1210番

靴 紳士 婦人 靴
品装 用服
スポーツ
平 TEL77

## 三十二年度には運行
## 特別委本格調査始む

### 市営バス

平市営バス事業運行調査特別委員会では昭和三十二年新春を期して運行の目標を決定、明五日から委員が三班に別れて左記日程により先進都市を調査、十月中にはまとめて十一月初旬ころ郡内五市を含む「市営バス運行特別委員会」を結成して本格的活動に入ることとなつた。調査要項は▽バス事業創業当時の状況①創立の目的②創立方法③資金調達の方法④建設予算④運転資金内容⑤機構▽廿九年度事業概要①路線②車輌、③運転手④収入及勤務⑤機構及従業員内訳⑥給与ベース、福祉状況など約二百項目にわたる詳細な調査をするものでその結果は大いに期待されている。

### 三班に分かれて先進地を調査
## 十一月には五市
## 含めた特別委を設立

調査団員及び日程調査地区は次の通りである。

▼A班（班員木村副議長、石山鈴木勇委員）九日出発六泊七日の予定で四国方面を廻り、徳島鳴門、小松島などの市営バス経営状況視察、

▼B班（班長金古委員長、強口委員、安藤事務局長）五日出発一週間の予定で、浜松、岐阜、大阪、高槻、尼崎、明石、姫路など中部、近畿方部を視察調査する。

▼C班（班長水竹委員、坂本、四家両委員）八日出発一週間の予定で中国方部の尾道、呉、山口、宇部などを視察の予定。

### 金子委員長談

出発にさき立つて金古委員長は次のように語つている「十月中に調査を終つて十一月初旬に郡内五市を含めたバス運行委員会を結成して本格的に発足する、年内には一切の準備を終つて路線の申請手続を済ませ、目標は遅くとも昭和三十二年新春から運行の運びになるよう進めてゆくつもりである、バス経営は一キロ当り経費五十二、三円（全国平均）ですむので、一キロ五、六人の人が常に乗車してくれると成立つ、人口の多い当地区は絶対県学経営の見通しである

### 簡易水道建設を陳情
#### 草野地区代表

草野村が平市に合併の際簡易水道を建設計画していたが、一年後の今日に至つても竣工の運びとならないので、坂本、草野支所長ら代表が三日市役所を訪ねて早期実現方を陳情した。

「草野泉崎（駅前附近の部落）及び下神谷地区の二百戸が使用している井戸水は水質が悪く、ろ過して使用しているが飲料水には適さず、又小、中学校の約千三百名の児童生徒もこの水を使用しており、保健衛生上からも憂慮されているので早期実現を図つてもらいたい」という

### 衛生管理者試験合格者

平労基署では去る八月三十日平市労働会館で行われた昭和三十年度衛生管理者試験合格者を三日次の通り発表した、なお免状は十月中旬ごろまでに各合格者宛送附する

松田博道（常交）赤津一（菊田運輸）吉田光治（小川町役場）古内義光（常磐炭砿）畑山浩（勿来市役所）赤津正敏（菊田運輸）神永敏男、綴内正男（三昌炭砿）安部孟司（日水）森務（門井組）岡部実（福電興業）吉田博、水野谷中（昭和工機）

### 金子巡査ら表彰
#### 常磐警察署

常磐署では去る八月十八日から九月十七日までの一カ月間を未検挙刑法犯の一せい検挙月間に当てゝ事件の解決に乗り出していたが、このほど月間中の総しめくゝりが発表され、それと同時に優秀な成績をおさめた署員が表彰されることとなつた、検挙総数は二百七十二件で、内訳は窃盗が二百二件で圧倒的に多く、次いで強暴の四十七件、以下横領、詐欺、暴行の各六件、傷害五件、文書偽造、覚せい剤違反などが二、三件と数えている、窃盗犯の中には近郊の電線専門に十五件時価三十万円相当を荒しまわつた同市水ノ谷無職岡田昭二（二九）、同渡辺の二人組、強暴は二人で四十七件のゆすりを働いた斎藤信雄（二八）、また常習窃盗として二十一才の某女が検挙され三十件を上廻る盗みを自供している表彰をうける署員は次の通り

▽優良賞①金子正、①常松哲一（以上巡査）、③佐々木正雄巡査部長、▽努力賞、①安田喜佐夫巡査、②渡辺署房巡査部長、③真野正太郎巡査、▽特別賞、高橋義次巡査。

## 縣代表に益山巡査
### 全国警察官柔道大会

七日東京都九段警視庁道場で行われる全国警察官柔道大会に平署の益山巡査＝四段＝が県代表として出場する。

すでに組合せも決定しており、益山四段は一回戦で神奈川県代表柄本五段と対戦することになつているが、柄本五段は前年度の優勝で日本柔道選手権者吉松七段を破つている猛者で、益山四段の健斗が期待されている。

二、三日を費したが、夫の態度に何かフに落ちない点を見つけた初子さんが、本籍に問い合わせたところ四月のはじめに離婚届が出されていることが判つたものである「届出には協議離婚となつているが、私は同意したおぼえもないし、また夫に相談されたこともない、余りひどいやり方だ二人の子までおるのに、自分一人でどうこうする訳にも行かず苦しみつゞけて来ました」と泣いて訴えている。

### 担当係官談

「まだ正式な依頼もないので何とも申し上げられないが、妻の存在を無視して勝手に手続きを取つた夫のやり方には係外の第三者的立場からみても、憤りを感じますね解決して下さいと言うことになれば、もつとくわしい事情も調べなければなりません。

## 子供二人ある妻の悲劇
## 妻の知らぬ間に
## 夫が勝手に離婚届出す

……でも私はどうせこうなつたんだから離れはしない」と強気に出ているので、今では一人の夫と二人の妻が同じ家屋ににらみ合つて住んでいる状態になつてしまつた。

九月中旬ごろ一夫さんが初子さんに「お前とは別れる決心をした、印鑑が必要だから出してくれ」とのひざ詰め談判、二人の話合いは穏やかに行つた際、内郷市方面の女を道連れにして、かの地で同せい生活をはじめ、おもわしくないと帰郷したときには第二号さんのおなかもすでに大きくなつていたという。

平市内某町に住む上田初子さん（三四＝仮名＝がそれで、四年前に同じ家屋に二人の妻

## 一号にも夫の子
### 同じ家屋に二人の妻

在の夫一夫さん（三七＝仮名＝と結婚、四才と二才の男女一人づつの子供まである仲なのだが、去年十一月ごろ一夫さんが横浜の方に出稼ぎに行つた

一緒にくらして来ておいて、いざ帰つてみるとちやんとした奥さんと二人の子まであるのに…

## 炭車にはねられ重傷

三日午前八時十分ごろ好間村古河好間炭砿第二斜坑で巻揚中の炭車八箱のうち三箱が連結棒がぬけて逆もどりし、下で働いていた現場係助手高野晃一さん（二七）はねとばされ腰部に全治二カ月の重傷を負つた。

### 土足で荒す

石城郡好間村上好間行商向井金吉（四一）は三日夜平市田町料理屋「田毎」鈴木武さん（四七）方に泥酔の上土足で上り込み、器物を壊したあつた日本人形時価五千円相当を壊し住居侵入、器物棄損現行犯で、平署に逮捕された。

### 会長佐藤君
### 平一中生徒会

平一中生徒会の后期役員は選挙の結果次の通り決つた。

◇会長佐藤光良◇副会長大谷久蔵、志賀のり子◇書記鈴木堅二根本昭◇会計河原紀美子、渡辺登美枝

八時三十分頃小名浜郵便局への社用をすませスクーターで二人乗し武藤君が運転して帰途、西町岩崎屋十字路で常磐交通バス運転者佐藤清君のバスの側面に衝突スクーターは前面大破、後座席に乗つていた遠藤さんは口唇に全治三週間の負傷を負つた。

## ラジオ古山

### 馬上喜一氏

磐城市椚本水産加工業馬上喜一氏（五三）は二日自宅で心臓狭心症で逝去、葬儀五日午後二時自宅で行う氏は旧町会議員、市会議員等を歴任今回の逝去がおしまれている。

## 天気予報

（今晩）東よりの風晴後曇一時小雨の天気でしよう

（明日）東ないし南の風最始め一時小雨が降ることがありますが後晴ましよう

（海上）今晩風波あり、明日多少風波が出ましよう。

ふつくらとした弾力・保温力のすばらしいスズキの綿
スズキ製綿店
平市新川町 電四二三

優生保護指定医
労災保険指定医
内科・外科
産婦人科
放射線科
松尾病院
平市大町五（電一五四番）
院長 松尾正平
副院長 原徳之
医員 松本浩
レントゲン技手 杉田昭二

大谷石
平五電66

巨匠 ジョン・フォード監督
名優 ジョン・ウエーン主演
MGM 總天然色
三人の名付親
銀行をりやくと奪し死の砂ばくに逃げ込んだ三人のならず者の烈しく痛ましくも美しい人間愛の物語
衝撃と虐殺の大河ウランガに奔流の如く展開する異状迫真の物語!!（總天然色）
アフリカの女王
ハンフリー・ボガード
キャサリン・ヘップバーン
5日→9日
民劇

映画 同時上映
長崎の夜
復讐の激情に血ぬられた南京街熱血の快男児哀恋に泣く女純情の恋に開花する支那娘霧笛の夜を彩る愛情の大活劇
長谷川一夫 若尾文子 市川和子 菅井一郎 杉山昌三九 石黒達也
5日ヨリ
恋の歴史
恋は美しく悲しくいたづらにちづけにつながれた久遠の誓い
鶴田浩二 司葉子 藤田進
世界館

# 珠算検定試験 合格者決る

平商工会議所主催の第二十五回珠算能力検定試験は二日午前九時から平商高に一千七百十四名が参加して行われた結果（一、二級は昨報）次の通り合格者が決つたが一級受験者中内郷市一ノ坪平商二年川井廉康君と同中学三年生川井重春君の二兄弟が大人尻目に見事合格語題を集めた、なお各級の合格率は、▽一級受験者四十五名一合格五名▽二級二百九十三名一合格三十名▽三級五百六十二名一合格二百二十五名▽四級三百四十一名一合格百四十一名▽五級二百六十八名一合格八十九名▽六級二百四名一合格八十六名で総合の合格率は三割三分三厘である。

**三級** 菅野照義、武勝イサ子、川村タエ子、蛭田節子、佐藤征子、土島艶子、高家玲子、稲坂博子、西本浜子、久野慶昭、猪狩範子、若松芳男、菅波栄、大谷和子、宮木邦子、長谷川美津子、横関進勝、永島利光、大槻桂子、鴻巣正躬、柴崎欽孝、弘中慶子、戸田和夫、斎藤興、金子幸一、阿部信行、飯高研平、永山恒子、永井日出男、加藤徳子、志賀ウタ子、九里幸子、小野喜美子、根本モリ、金子光子、酒井和子、松崎進、菅木和子、飯沢行雄、松崎節子、郷内信子、大竹多美、滝川正一、阿部節子、茂木淳平、佐川弘、佐藤英二、河田忠三、根本順市、佐藤啓子、木口勝男、大内よし、白鳥敏江、西山恵子、渡辺政彦、平山恵子、安島文子、天蔵淳子、小松元子、鹿島美代子、小西八千代、古川晃子、川上弘、佐久間恒夫、今泉忠寛、菅野正、小松隆、早坂正子、田村妙子、庄司健一良、渡辺真由美、羽根田慶子、菊地信義、三宅洋、中山正子、佐川妙子、佐藤登子、上遠野美代子、田辺知代、生田精利、緑川修一、緑川孝子、山下敬麻子、鴨崎貢、松崎敏、鈴木敬子、大谷国子、馬目節子、福田朝子、佐々木久子、金野洋子、鵜沼八重子、細矢正好、国田啓子、豊田康子、小野春枝、千葉尚子、四家勝子、村井雅子、坂本四郎、長谷川靖美、三浦ヤイ子、鎌田キク子、渡辺篤子、樋田正子、近納袈一、吉田功、鈴木孝、高木正弘、鈴木正則、遠藤恭子、山本サキ、鈴木邦子、蒲生京子、大峰桂子、山田千代、大和田盛子、馬上さ月、福田紀子、荒得子、渡井ユキ子、屋嘉ナイ子、高岡稔、大泉周次郎、斎藤さつき、安田静枝、藤原初枝、佐藤悦子、阿部静子、黒丸トヨ子、鵜沼フチ子、佐藤友子、飯村ミチ、榎本敏明、芳賀登喜子、芳賀信子、新妻政子、小野好男、斎藤誠、酒井正巳、星野ハル、野崎菊江、小松喜子、金本勝男、木田史子、渡辺実、菊地育男、斎藤敏男、渡則夫、小林輝次、小松タイ子、江尻文子、千葉幸子、大谷宇一、馬場宏一、武山勝好、荒木敏里、馬場政次、志賀政信、高橋正則、村上芳子、宵木徹夫、高橋容子、綾子、熊谷定子、山城孝、鴨井スミ、金成文子、鈴木マサ子、菅原美代子、蛭田光俊 以上二二五名

**四級** 津田ツヤ子、阿部和子、丹野洋二郎、繁田清一、酒井幸平、白石靖治、浜尾弘子、阿部信子、下妻勉、鈴木一瓢、佐藤和子、志賀孝代、鈴木平吾、伊藤正純、根本久、松田爽、山田充男、鈴木徳子、大河原雅子、奥田照美、高田登美子、山崎ミヨ子、宵木和子、岩佐一男、坂本光男、草野要道、細井功、緑川秀俊、馬目征四郎、新妻稲子、小野源太、斎藤尊、星賢二郎、渡辺功、高木寛久恵、芳賀道子、吉田順子、菅原恵美子、小野好孝、根本三好、加藤武明、佐藤宇代子、阿部好子、平山岩、尊矢目桂子、

（下記へ）

# 猛威振った日脳 赤痢は昨年を下廻る

毎年県下一の発生率で予防機関の平保健所を悩ましていた夏期の産物〝伝染病〟は晩秋を迎えようやく下火となり係員をホツトさせているが、このほど同所でまとめた伝染病発生率は例年に反比例して県下一に少なくなつていることが判つた。

同所のまとめた資料によると一月から八月二十日現在までの伝染病発生数は昨年同期発生の六百三十八名を九割も下廻る三百四十三名となつている。その中赤痢が最も多く二百八十四名（真性九二、疑似五二、保菌一四〇）死亡十四名となつており昨年に比べると十一割減となつて伝染病の少なくなつた最大原因になつている。赤痢と正比例してしよう紅熱もグツト減つて昨年同期の一割の六名、ヂフテリアは三割減の二名となつている一方これら伝染病に反比例して腸チフスは二十五名で昨年同期の五倍、日本脳炎は昨年は一名も発生しなかつたがすでに二十二名の多くに達している、また流脳も一名多く四名となつている

赤痢の少なくなつた原因は一昨年の夏江名を始め各地に集団発生したため昨年から同所で前年発生した患者の家族を含めた予防検診、健康保菌者のうちの隔離徹底さらには磐城市江名農業吉田宏さん（四）一家のように夏中家族が月一回の検診を受けて予防に協力するなど一般に衛生思想が徹底したためとみられる一方日本脳炎、腸チフス、流脳などが多発を見せたのは夏中の三十八度に及ぶ異状高温が続いたためとみられる

# 父逝く

鈴木謙四郎

亡父のよく好める門の金木犀咲き初めし今朝みまかりにけり

薬鍋頭いろ冴え来たるこの朝五時三十分に父は逝きたり

木犀の香りはほのと仏間までおよびておりぬ初七日の朝

初七日を迎えんとする孫娘生花ととのえんと緑に選びぬ

木犀のかほりと香のかほりとが畑の中になごみたよふ

庭の花みなすがれゆく中にして扶容一つがりんと咲きおり

# 福井君を表彰 人命救助

磐城市江名小学校福井清一君（三）＝六年生＝はこの程人命救助で県警本部から表彰された。

去る八月二十四日江名の磯で仮死状態になつていた同校一年生薬谷英雄君（七）を自分の危険も忘れ救助したもの。

# 植田駅表彰さる

植田駅は過般施行された。旅客サービス期間中よくその趣旨を体し創意を工夫し、輸送に万全を致し優秀であつたとし九月三十日水戸管理局長川又久夫氏から表彰された。

同駅は運転無事故実施に当りては、去る二十年一月から二十三ケ月間の長期に亘り無事故を樹立表彰状と金章を授与された名誉の駅でもある。

# 今晩のラジオ

## NHK（第一）

6.00 シンブン
ちえのポスト
6.25 オテナの塔
6.45 話題を追つて
7.15 録音ニュース
7.30 話の泉
8.00 青空の仲間
8.30 民謡をたづねて
9.15 放送劇（源義経）
9.40 時の動き
10.15 虹のしらべ
10.40 芸術よもやま話

## ラジオ福島

6.05 空の向うに 何がある
6.15 スイート コンサート
6.25 児童劇
6.40 父を訪ねて 一万キロ
7.15 連続ドラマ（新選組）
7.30 どうしましよう
8.00 一番寄席
8.30 歌の風車
9.00 浪曲 東家浦太郎
9.30 タバクールアワー
9.45 キツコーツルアワー
10.05 名作アルバム
10.25 夜の希望音楽会
11.05 浪曲名調アルバム

# 今晩の映画

●平 館 夜の部 六時二〇分
月夜の傘
遠い雲
（四日まで）（電四六六）

●ひかり座 夜の部 六時五三分
黒い街
情事の終り
（十日まで）（電一三三八）

●聚楽館 夜の部 六時三五分
死刑五分前
十二哩の暗礁の下に
（四日まで）（電四七〇）

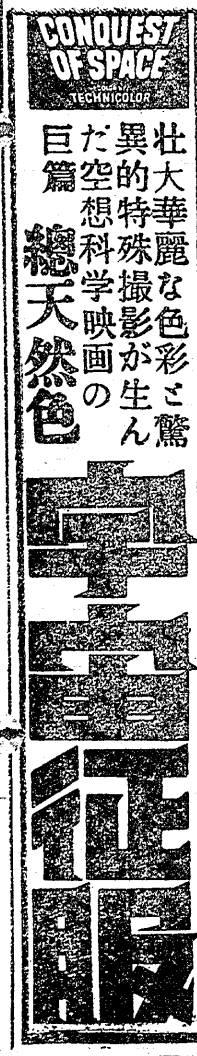
●世界館 夜の部 六時三四分
湯島の白梅
夫婦善哉
（四日まで）（電五八）

●民 劇 夜の部 六時三十分
悲恋
田園交響楽
（四日まで）（電一三二二）

●東映劇場 夜の部 六時四〇分
まぼろし小僧の冒険
ろう獄の花嫁
（四日まで）（電 六五）

●四倉町海盛座 夜の部 七時
密月旅行
まぼろし小僧の冒険
（四日まで）

▽われと来て遊べや彼女のない彼氏（或女）この句はステツキガールがお銭を頂戴するためつた句ではない友人遊が彼女と共に手を握つて紅葉の山に出掛て行くのを見てやるせない日曜を過している男の前にこの句をうたいながら天女の如く現れその男の手を取つて遊（？）ばして呉れたと言う彼女に争欠く男性にとつては耳よりな話、

▽内郷市御厩町会社員松本俊一さん（三）は去る二十四、五の連休に友達と紅葉狩に出掛る積りだつたがさて二十四日の朝寝つて見ると皆んな彼女連れ彼女など持つた事のない純情松本君ガツカリしたうえゴセをやき友人の止めるのもきかばさうさと一行から別れてしまつた、しかし別れては見たものの一つかず離うつに閉されてしまい同地内の新川べりに身を横たへていた、ところがかの句を口ずさみ天女の如くスーとみ目美しい女性（そのときはそう思つた）が松本君のかたわらに待しずいた、松本君顔ついていた彼女が降つて沙いたように現れたのに一つたんは驚いたが彼女の微笑につられついニツコリ、話はその後トントン拍子に進み一路アベツクコースをという事に合成つた

▽この話を帰つてから聞いた友人達それは面白いとその翌日交代で新川べりに寝そべり天女ならぬ彼女の御降臨をまつたがいつに現れる気配がない遂に「松本君のように純情男にしかこの恋は通じないのだらう」とこのほどあきらめたが純情を自負出来る男性は一つ如何、しかしこの話は伝え聞いたものので真疑のほどは判らない。